

総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和4年9月15日(木)
14時45分開会 14時54分閉会
- 2 会議場所 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：鈴木孝寿 副委員長：佐藤幸一
委 員：西山輝和、中島里司、奥秋康子、加来良明
議 長：桜井崇裕
- 4 事務局 事務局長：田本尚彦、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
 - (1) 所管事務調査の申し出について
 - (2) 議会報告会と町民との意見交換会のまとめについて
 - (3) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 14 : 45】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（鈴木孝寿）：決算審査終了後お集まりいただきありがとうございます。只今より総務産業常任委員会を開催する。まず1番、所管事務調査の申し出についてであるが、まだ名目は考えていないが、基本、公共工事の安全パトロールではないが、現場視察というような、名目は再度つくりなおしながらやりたいと思う。調査実施時期の目安についてはご一任いただいているので、来週の本会議で報告させていただきたいと思う。

(2) 議会報告会と町民との意見交換会のまとめについて

委員長：続いて、議会報告会と町民との意見交換会のまとめである。資料がお手元にあると思うが、まず1つ目、コミバスの関係。担当課からは、十勝清水駅の跨線橋昇降の対応も含めて、清水市街地循環路線と御影駅をつなぐコミュニティバスを運行していますが、交通弱者の移動支援については、月曜日から土曜日まで運行しているドアtoドアの買い物銀行バスを充実させたいと考えております。今後も利用者の声を聞きながら、町全体の公共交通の充実を図っていきます。というのが回答としてある。このまま調査検討結果に反映させたいと思うがいかがか。委員会としての表現に変えたいと思うが、中身はこのような形でよろしいか。

(はいとの声あり)

委員長：続いて、町内会の関係。これも担当課からは、令和2年度、3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、防災訓練などの実施を見合わせてきたが、今年度は11月中旬、下旬に町民を対象とした防災訓練（主に講話）を行うよう準備を進めている。実施の際は町内会宛てに案内する、となっている。これについても委員会としての言葉に変えて表現を変えながら、内容はこのような形でよろしいか。

(はいとの声あり)

委員長：次に41番。答弁の内容の2行目、事業の内容の目的ややりがいを持って取り組んでもらえるような進め方を、というような答えにしたいと思うがどうか。

加来委員：基本的にはいいと思うが、その中に、町民との交流の場を作るとか、なんというか、よそ者扱いにならないような、役場の職員の中でも交流が持てるような、そんな環境を作って定住につないでいくみたいな方法をとらないと、協力隊員として呼んだけれども、任せっきりで周り関わっていないような感じが、前に調査した時にも感じたので、そんな取り組みも町としてしてほしいということを町に伝えるみたいな形を報告で入れてもらえればいいかなと思う。

委員長：おおまかにこのような形で、町民との交流をできるだけ持たせて、必要とされているという地域おこし協力隊の運営を今後も心掛けるようにしたいと調査検討結果に記したいと思うがよいか。

(はいとの声あり)

委員長：次に42番。これについてはご意見として受けたいとしてよいか。

(はいとの声あり)

委員長：これについては最終的には全員協議会で報告したいと思うのでよろしく願います。その他なにかあるか。

(3) その他

田本局長：只今ご協議いただいた4件について、他の委員会でも検討項目の確認をしていただいている。全体を集約して議運で報告書の全体像を確認していただいた後、全員協議会で最終的に全体の確認をして報告書の確定をする。そして11月発行の議会だよりには、その中から何点か抜粋してお知らせするというので、そのスケジュールを逆算していくと、議運を10月4日の清水高校模擬議会リハーサル終了後に行って、10月18日の模擬議会本番の後に全員協議会を行って報告書の確認をしたいと考えているのでよろしく願います。

委員長：それでは、以上をもって総務産業常任委員会を終了する。

【閉会 14:54】